

Guam寄席 報告～ Guamに落語が来た～

5月28日2019年(令和元年) Guamに大きな笑いが生まれました。

日本にいても、鑑賞する機会の少ない落語の寄席。それを3人の若手女流芸人が Guamに笑いを届けたいと、海を飛び越え出前してくれました。その3人とは、春風亭小朝一門、寄席のプリンセスー春風亭ぴっかり☆、林家正蔵一門、明るい芸風で誰にでも愛される林家なな子、林家たい平一門、三味線漫談の第一人者、林家あずみ。日本でもこの3人がそろうって演じる機会はまれ、それが Guamで実現。



春風亭ぴっかり☆
(落語)

林家なな子
(落語)

林家あずみ
(三味線漫談)

第一弾、日本人学校体育館にて、全日制の小学1年生から、中学3年生までの70人近い生徒を相手に、落語とは、落語のしぐさ、南京玉すだれ&かっぽれまで3人がタッグを組み、飽きさせずに落語の面白さを1時間にわたり、熱演してくれました。



なな子さんは、なぞなぞを取り入れた、“からぬけ”というお話、あずみさんは、何の意味もない小唄に澄んだ声を三味にのせ、話を落としてくれました。プールでの佐々木おばあちゃんの“おっばい”の話が頭を離れません。

最後は、ぴっかりさん。家のつくり(普請)を、ほめる“うしほめ”というお話。

与太郎が、挨拶で手の三角を鼻に当てるしぐさ、秋葉様の御札で“火の用心” “屁の用心”。そこにいないとわからない笑いのライブ。楽しかったです。

第二弾、夕方は、ホテルニッコー Guamにて、空席以外は、満席の18名のお客に三者三様の笑いを提供。

なな子さんの“みそ豆”煮えた豆の臭いと旨さが客席にまで届いてきました。旨い物を一人で食べる時の浅知恵と行動は皆同じ。

あずみさんの小粋な三味線漫談は、熊本の“お清しゃもじ”の小唄に、三味線が本調子、二上り、三下りを奏でたか、奏でなかったか？そして佐々木ばあちゃんのおっばい再登場は、水泳教室の男性年輩会員が増えたとの落ち。

最後は、プリンセスぴっかりがライオンに成り切り、虎と対決する“動物園”。どれも見なくちゃ、聞かなくちゃわからない。18名の満席がとても贅沢。

人を笑わせ、別世界に引き込んでくれる3人の演芸は、すごい物でした。

寄席後、ニッコーホテルの計らいで、マゼランで、ブッフェを頂き、食をネタに笑いの渦を台風並みに発生させるのでした。翌日は、日本人学校生徒全員の感想文が今回の Guam寄席を企画提案された熊田幸弘さんに手渡されました。

本当にありがとうございました。

教育部 部長 権田 正



● 日本国内旅行手配承ります！

www.yokosojapan-tour.com

👉 Japan Rail Pass 好評発売中！

👉 購入者に無料エコバックプレゼント中！

📌 HTMGUAM

その他日本国内の宿泊・団体旅行のお見積もり
お気軽にお問い合わせ下さい！

HTM Guam ☎ 646-7641

HTM
HOLIDAY TOURS MICRONESIA GUAM, INC.